

松山大学が選ばれる 5つの理由

1 人があたたかい

温厚な人柄が多いと言われる松山。教授陣・日本人学生・スタッフ…松山大学の私たちは、各国から来る留学生をとてとても大事に考えています。学生チューターによるサポート体制も万全。いつでもあたたかく皆さんをお迎えできるよう、門戸を広く開けています。

2 学びに最適の環境

学生数約6,000人の大学なので、少人数クラスも数多くあり、教授の目が行き届いています。各留学生を個別に担当する指導教授が、学習面においても力強くサポートします。また、年間の学費は日本の私立大学の中でもトップクラスの安さ。皆さんに負担をかけないよう配慮しています。

3 気候がよく、街が住みやすい

松山は、日本でも有数の晴れの日が多い都市で、冬でも雪が降ることはめったにない温暖な気候です。物価が安く住みやすいのも魅力。大学周辺は学生・若者が集まる地域なので、同年代の友人とアニメやファッションなど流行の日本文化を楽しむ機会もたくさんにあります。

4 日本語を学ぶのに良い環境

松山大学が開講している日本語科目に加えて、近隣大学と共同開講の日本語クラスを、レベル毎に用意しています。外国人が少ないので、必然的に日本語を使う環境に身を置くことになります。それが、日本語習得への早道。周りの教授や学生も、皆さんの日本語上達を快くサポートします。

5 就職に強い

指導教授・キャリアセンター・国際センターが連携を取り、皆さんの就職活動の状況を把握する体制をとっています。一人ひとりにきめ細かな対応を心がけ、全面的な支援を行います。これまで、日本での就職を希望する学生のほとんどが、その希望をかなえているという実績があります。

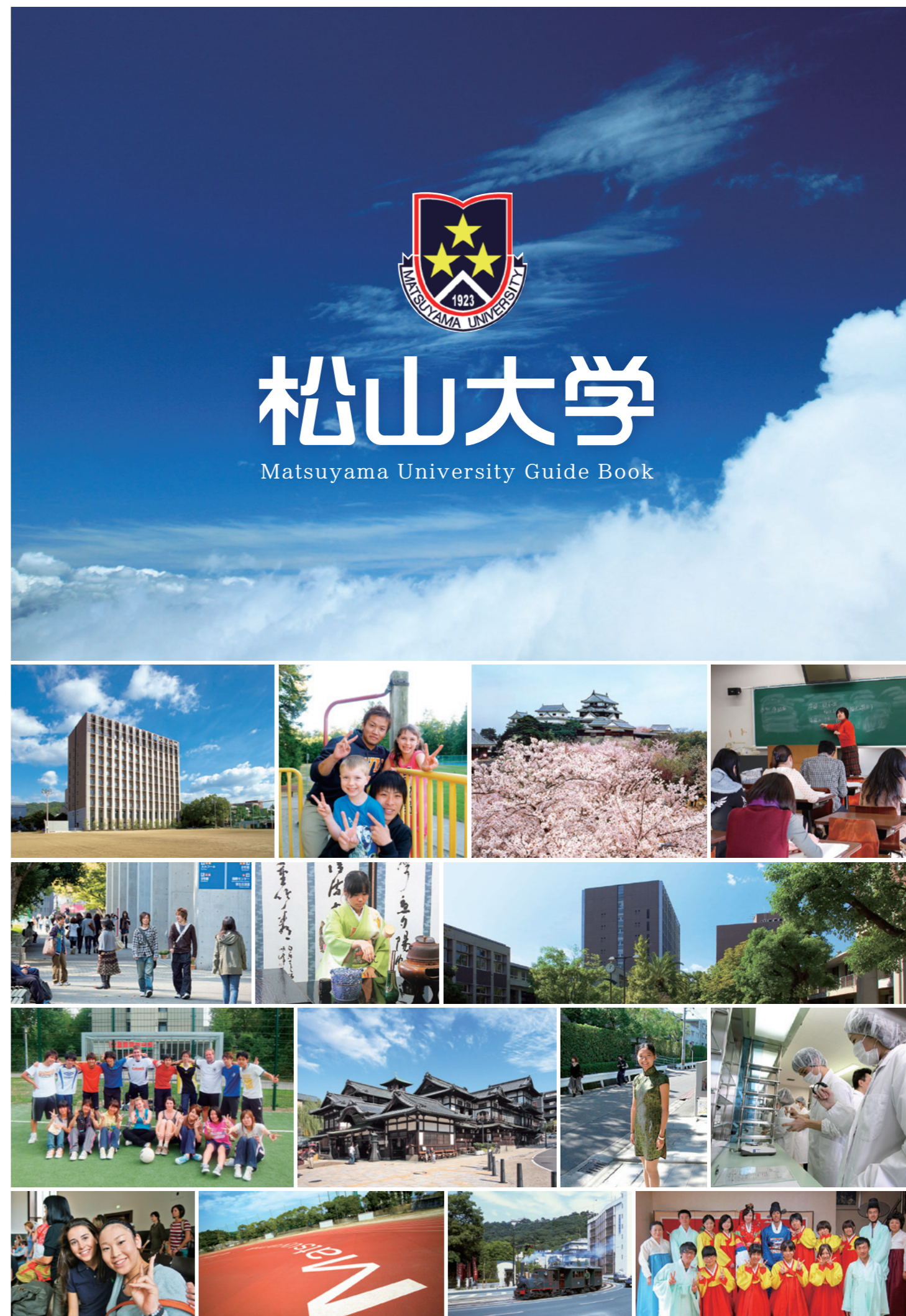
6つめは・・・、実際に松山大学に留学し、皆さん自身で見つけてください。



松山大学

〒790-8578 愛媛県松山市文京町4番地2
TEL 089-925-7111(代表) URL <http://www.matsuyama-u.ac.jp/>

松山大学 国際センター TEL 089-926-7148 FAX 089-926-7151 E-mail mu-kokusai@matsuyama-u.jp



日本で、松山大学で
可能性を引き出す。

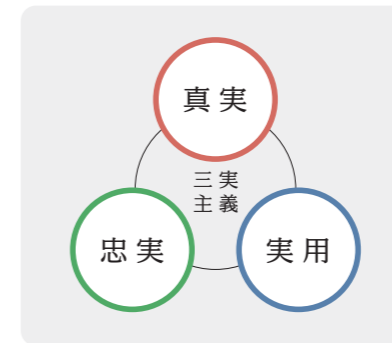
大学概要

Matsuyama University

松山大学は1923(大正12)年に創立された、四国でもっとも古い歴史を持つ総合私立大学です。現在は大学院、短期大学を併せて約6,000人が学んでおり、90年の歴史の中で輩出した卒業生は約67,000人にのぼります。

建学の精神

松山大学は、「真実」・「実用」・「忠実」の「校訓三実」を教育理念として掲げ、学問と人間性の涵養をめざして社会に有用な人材育成に邁進しています。



新田長次郎(温山)翁

1857(安政4)年～1936(昭和11)年

学園創設の父。「学校運営に関わらない」ことを条件に、本学の前身である松山高等商業学校の設立資金として私財を投じた。

沿革

- 1923年 新田長次郎氏により松山高等商業学校創立
- 1944年 松山経済専門学校と改称
- 1949年 松山商科大学に昇格、商経学部を設置
- 1962年 商経学部を発展的に解消し、経済学部及び経営学部を設置
- 1974年 人文学部(英語英米文学科、社会学科)を開設
- 1988年 法学部法学科を開設
- 1989年 松山大学と改称
- 2006年 薬学部医療薬学科を開設

伝統と実績が育む、地域との信頼関係

「地元のために」という創設者の思いを受け継ぎ、いつの時代も地域とのつながりを大切にしてきた松山大学。積み重ねてきた歴史と伝統の中で、地域社会への貢献を続けています。近年、最も力を入れている産業機関との社会連携事業。地域との深いつながりが学生を育て、学生のアイデアや努力が愛媛の発展に貢献しています。

社会連携事業(産学協同プロジェクト)

松山大学では、学生・教員が地域産業・企業と連携して、地域ならびに地域産業の活性化を推進しています。これらの活動を通じて、学生は実用的知識の習得、社会人に向けての成長を遂げています。これまでに、みかんを使用した酒の開発、地元農産物・海産物のマーケティング・広報、サイダー3種の開発販売など様々なプロジェクトに多くの学生が関わりました。

愛媛の特産品・かんきつ類を使用した3種のサイダーをプロデュース



黄金柑サイダー-Lunapiena



サイダーを販売「大街道マルシェ」

産学協同プロジェクトの1つとして、3年間をかけて生み出したのが、3種類の清涼飲料水「松山ライムサイダー」、「えひめオレンジサイダー」、「黄金柑サイダー」。果汁の配合や味、ネーミングやラベルデザインに至るまで学生たちがアイデアを出し合い、商品開発を進め、販売の機会も設けました。現在も地域活性化のため、地元特産品を使用した新たな商品開発を進めています。

[CONTENTS]

- 01 大学概要
- 02 建学の精神／伝統と実績が育む、地域との信頼関係／社会連携事業
- 03 学部・学科／大学院の構成
- 04 課外活動／在学中の留学生インタビュー
- 05 Campus Map
- 06 Location
- 07 留学生の生活@松山大学
- 08 留学生支援体制
- 09 協定校Map／協定校での研修風景／留学経験者の声
- 11 松山大学が選ばれる5つの理由

学部・学科／大学院の構成

学部	経済学部	経営学部	人文学部	法学部	薬学部
学科	経済学科	経営学科	英語英米文学科 社会学科	法学科	医療薬学科
学生数	1,700人	1,700人	英)450人 社)500人	900人	550人
大学院	経済学研究科 ・修士課程・博士課程	経営学研究科 ・修士課程・博士課程	言語コミュニケーション研究科 ・修士課程 社会学研究科 ・修士課程・博士課程	—	—

経済学部 経済学科

- 特徴：経済学を通じて、論理的思考能力・リーダーシップを身に付けます。
- 科目紹介：「愛媛経済論」では、地域(愛媛)の経済・地場産業を取り巻く現状と課題を学び、地域に対する認識を深め、その将来を展望していきます。



経営学部 経営学科

- 特徴：専門コースを選択することにより、実用的な経営学に関する知識を身に付けます。
- 科目紹介：「経営戦略論」では、企業が持続的に利益を上げるためにはどうすべきか？など具体的事例を交えながら、企業の仕組みづくりを考えます。

人文学部 英語英米文学科

- 特徴：ネイティブスピーカーの教員による授業も多く、英語運用能力を身に付けます。
- 科目紹介：「Presentations in English」では、英語のスピーチを作って発表したり、コンピューターソフトを使ったプレゼンテーションを行います。



人文学部 社会学科

- 特徴：私たちの暮らしを取り巻く社会現象や社会問題を学びます。
- 科目紹介：「メディア論」では、メディアの社会心理学的効果を学び、現代を生き抜く情報リテラシーを身に付けます。

法学部 法学科

- 特徴：日本や世界の法律や政治を学び、その専門用語を用いてコミュニケーションを図る能力を養います。
- 科目紹介：「国際法」では、国際社会がどのような方向に変化しつつあるのか、また変化していくべきなのかについて、国際法の視点から考えます。

薬学部 医療薬学科

- 特徴：5ヶ月間の病院・薬局実習からなるカリキュラムを編成、高度専門職業人としての薬剤師を養成します。
- 科目紹介：「薬理学」では、からだのどの機能が異常になり病気になったか、薬はどのようにしてその異常を取り除くかを系統立てて学びます。



大学院 経済学研究科

経済学の高度・専門的知識の修得を追求し、優れた研究者、税理士、教員、公務員を輩出。中国・韓国・ドイツなどからの留学生受入実績が多数あり、学術的な国際交流も進んでいます。

大学院 言語コミュニケーション研究科

言語学(英語学)、文学(英米)、言語教育学という3つの分野において研究を深めます。留学生の受入れにも積極的です。

大学院 経営学研究科

経営機能の4つの柱である、人材・生産・財務・マーケティングの研究を深め、企業が抱える課題を抽出、解決する方策を見出していきます。

大学院 社会学研究科

四国で唯一の社会学専攻の博士課程を持ち、理論分野、現代社会・メディア分野、地域・国際・環境分野、福祉・臨床分野という4つの教育・研究分野を提供しています。

課外活動

松山大学で学んだ学生の中には、世界レベルの大会で記録を残したスポーツ選手がいます。多くの学生が課外活動にも熱心に取り組んでおり、日本国内で上位の成績を取っている学生が在籍しています。その中には、世界の舞台を目指す学生もいます。

女子マラソン：土佐礼子選手

アテネオリンピック(2004年)5位入賞
東京国際女子マラソン(2006年)優勝
世界陸上大阪大会(2007年)3位入賞

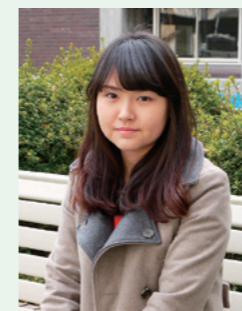


スノーボード男子ハーフパイプ：青野令選手

世界選手権(韓国・2009年)優勝 [日本初]
バンクーバー冬季オリンピック(2010年)決勝出場



在学中の留学生インタビュー



協定校平澤大学からの
受入留学生

経営学部3年次生

丘 イスル
KOO LEESEUL

[韓国]

協定校受入留学生として、松山大学経営学部で1年間在籍しています。日本の大学で正課の授業を受け、しっかり単位を取得したいと思っていた私に最適だったのが、松山大学でした。韓国で1年間語学学校で日本語を学び、留学への大きな夢を持って松山大学に入学しました。この1年で、私の日本語能力はさらに上達し、今では授業や教科書の内容も簡単に理解し、また敬語も使うことができます。松山は気候も人もとても穏やかで、特に女性の細やかな気配りが印象的です。大学構内にある寮は、個室でプライバシーが守られ、また共同キッチンでは、各国の留学生と互いの郷土料理を作り合っただけでなく、食事会を開いたりもしています。日本語弁論大会への出場や、バレーボール大会への参加、インターンシップ体験は、日本に留学したからこそ経験できた大きな財産です。ホームシックにかかったことは1度もなく、松山大学に来てよかった！心からそう思います。大学卒業後は再度来日し、日本に住む世界各国の人たちのために、日本での暮らしをサポートするような仕事に就きたいです。



私費留学生

大学院経済学研究科
博士課程 2年次生

姚 海峰
YAO HAIFENG

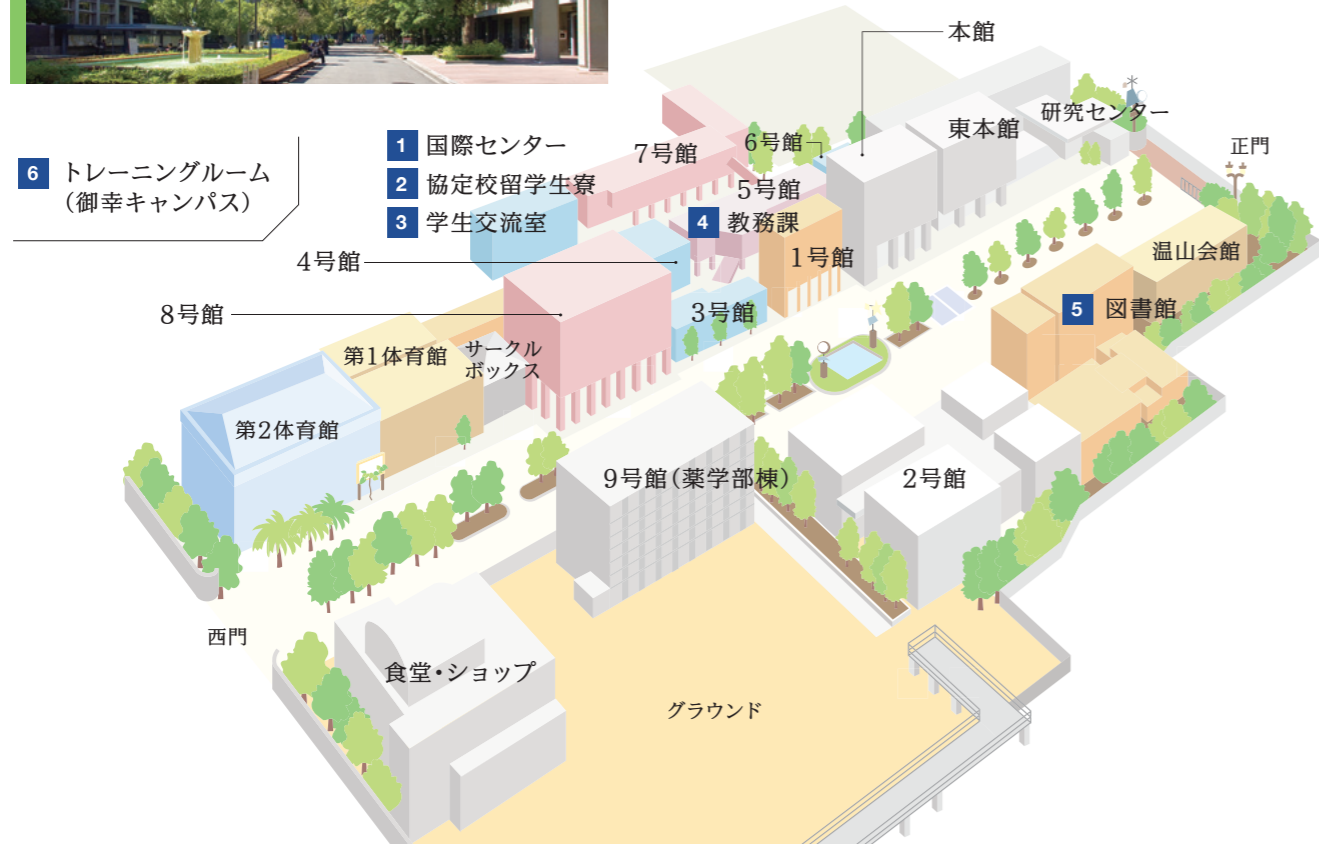
[中国]

日本語が堪能な祖父の影響を受け、10年前に留学のため松山に来ました。松山に来た当初は全く日本語が分からなかったのですが、他大学にて数年勉強して語学を修得した後、ぜひ経済を学びたいと思い、商科系に強い松山大学の経済学部へ3年次編入しました。現在は、大学院博士課程にて中国とASEANのFTA(自由貿易協定)について研究を進めています。世界の中で、現在中国がおかれている立場の理解に努め、中国経済の発展の歴史を学び、そこから未来の展望を見出しています。指導教授は、論文添削、参考図書の手配、研究不足の補いなど、いつも熱心な指導をしてくださいます。日本での生活が長くなるにつれ、日本人の考え方や規律などに親しみを感じます。日本特有の互いを思いやるあたたかい制度や慣習を、中国へ帰国後、周囲の人々へ伝えていきたいです。また両国のかけ橋となり、日本に関する知識だけでなく、私が10年間に経験した真の日本の姿を伝え、日中の良好な関係の持続に尽力したいと思っています。

Campus Map



学生たちが日々熱心に学び、
明るい笑顔と声があふれる文京キャンパス。
学生たちは、1日のほとんどをこのキャンパスで過ごし、
良い思い出を積み重ねています。



1 国際センター

留学生の生活を全面的にサポートしている国際センター。日本人学生との交流を深めるイベントも多数開催しています。



2 協定校留学生寮

1人部屋。机・椅子・ベッド・クローゼット・テレビが備わっています。インターネット各自契約可能。台所・風呂・トイレ・洗濯場・娯楽室は共同。



3 学生交流室

友人との憩いの場。楽しいランチタイムや自習のために多くの留学生や日本人学生が集います。



4 教務課

履修や学業成績に関する相談先となる教務課。学部ごとのスタッフが対応します。



5 図書館

約91万冊の蔵書を誇ります。月～土は夜10時まで開館。オンラインデータベース、電子ジャーナル等も提供。



6 トレーニングルーム

文京キャンパスより徒歩5分の御幸キャンパスにあります。各種フィットネスマシンを備えており、学生は自由に使用できます。

Location

都会、自然、そして学生の街、松山で学ぶ。暮らす。

松山大学が位置する愛媛県松山市は、四国を代表する人口51万人の都市。
学生、若者が多く、都会でありながら豊かな自然にも恵まれています。



生活に便利な立地

松山大学は、松山市の中心部に近いところに位置しています。市内の移動手段として路面電車やバスがありますが、一番便利なのは自転車です。街がコンパクトなので、どこへ行くにも自転車でスムーズにアクセスできます。最初は自転車に乗れない留学生も数日間の練習で乗りこなせるようになり、友人と楽しく自転車で散策しています。大学の周辺には、学生用のアパート、食料品や生活に

必要なものが揃う商店、飲食店も多数あります。食文化においても松山は有名です。特に近海・瀬戸内海で獲れる新鮮でおいしい魚介が安価で手に入り、日本食を十分に楽しむことができます。学生・若者が集う街の中心地へは、自転車で10分。授業の合間や週末には、ショッピングや友人との時間を楽しく過ごすことができます。



買い物も便利



自転車でもどこへでも



自転車でも10分の中心地、大街道

物価も安い

学生・若者の街、松山には家賃の安いマンション、アパートが多く、他県の都市と比べて物価が安いのも魅力。

松山市は全国の都道府県庁所在地の中で最も家賃が安い街 総務省「小売物価統計調査2011」より換算

都市名	松山	大阪	東京
家賃	19,638	33,804	53,622

単位: 円[ワンルーム(6坪)での1ヵ月の平均家賃]

松山 CITY GUIDE



松山城

400年を超える歴史をもち、日本を代表する城の一つ。松山市中心部の小高い山の上にある人気の観光スポットです。松山大学からも、その堂々たる佇まいを間近に見ることができます。



道後温泉

日本最古といわれている温泉。世界各国からの観光客でにぎわいを見せて、地元住民からも愛されています。留学生も友人と訪れては、名湯に癒されています。

松山大学には、例年約50名の留学生在籍しています。そのうち、中国・ドイツ・韓国・台湾の協定校から受け入れる留学生は約10名です。多くの留学生はアルバイトや趣味と勉学を両立させています。

私費留学生在卒業後に大学院へ進学するケースもあります。

国際センターでは、留学生が安全で楽しい学生生活を送れるよう、各種手続き・日々の生活のサポートや、日本人学生との交流イベントなどを行っています。



日本語弁論大会で優勝!



日本語の授業風景



多国籍食事会



海へ遊びに



日本の職場体験(インターンシップ)



国際交流スポーツ大会



国際交流バスツアー・大分県へ泊旅行



お互いの言語を教え合い



卒業式

[留学生支援体制]

松山大学では、留学生が充実したキャンパスライフを送れるよう、様々な面からバックアップします。

学習面においては、まずゼミと呼ばれる少人数グループに所属し、そのグループを担当する指導教授が、留学生を全面的に支援します。ゼミでは、学習だけでなく旅行なども行い、教授や日本人学生との交流を深める機会が多数設けられています。

その他に以下のような、費用面や普段の生活における留学生支援体制があります。

留学生奨学金制度の一例

種類	給付額／奨学期間
松山大学 私費外国人留学生奨学金	対象:私費留学生1年次生 (学部生及び大学院生) 及び編入学生 給付額:月額30,000円/1年間

※上記以外にも学外団体の奨学金制度が複数あります。

※協定校留学生については、各協定により奨学金の支給がある場合もあります。

学費減免制度

私費留学生(学部生・大学院生)は、学費減免制度が適用されることがあります。

減免額の種類は、年間学費の全額・半額・30%です。学業成績・経済状況等により、審査を経て、学費減免適用者が決定されます。

[参考] 2012年度の年間学費 780,000円
入学金 200,000円

※年間学費は日本の私立大学の中でトップクラスの安さです。

※学費は今後改訂される可能性があります。

チューター制度

私費留学生の1年次生と編入生、協定校より受入れる留学生を対象に、松山大学の日本人学生が1対1で下記のようなサポートをする制度です。

- ①学習上の相談
- ②履修登録など入学直後の諸手続きのサポート
- ③日本の生活習慣理解の支援
- ④国際交流行事と一緒に参加し、他の学生との交流促進



松山大学には、留学生の皆さんをぜひ支援したいと思っているチューターが多数います。チューターとは、大学内での時間だけでなく、プライベートの時間も共有することがしばしばあります。一緒に遠出をしたり、互いの趣味を共有したりと日本人学生と絆を深めるチャンスです。チューターは留学生の皆さんにとって、かけがえのない友人となることでしょう。

日本語クラスの紹介

日本語の授業については、松山市内の4つの大学共同で開講し、各大学の留学生は市内の他大学の授業も受講できるようになっています。松山大学では、日本語能力試験N2以上に相当する中級クラスを開講。また、上級クラスもあり、「ビジネス日本語入門」という科目では、ビジネス社会に必要な敬語を中心に学習します。隣接する愛媛大学では日本語初級クラスが開講されており、松山大学の留学生も多数学んでいます。いずれのクラスも少人数編成のため、教授によるきめ細かな個別指導が受けられます。



協定校Map



協定校での研修風景



ホストファミリーと(イギリス・カンタベリー)



文化体験:韓服(韓国・ソウル)



部活の仲間と(台湾・高雄)



先生の家でパーティー(オーストラリア・ブリスベン)



アクティビティ:カヤック(カナダ・ビクトリア)



中国人家庭を訪問(中国・上海)



姉妹都市フェアにて(ドイツ・フライブルク)

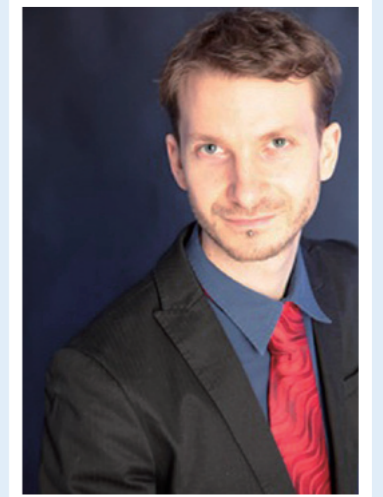
松山大学への留学経験者の声

Stephan Hornick

協定校フライブルク大学(ドイツ)からの受入留学生として
 2005年9月~2006年8月 人文学部社会学科に在籍

幼少のころから、エキゾチックなアジア文化に憧れがあり、侍、アニメ、少林寺拳法などに強くひきつけられていました。あるとき私はついにアジアへ自分の人生の意味を探しに行くことを決心しました。アジアの各言語に少しずつ触れてみたところ、日本語は、その中で最も美しく自分に合った言語だと感じ、日本に行くことを決めたのです。最初は京都を留学先として選んでいましたが、松山に変更したことがかえって後の大きな財産となりました。もし京都に住んでいたら、松山にいたときほど自信を持って日本文化に溶け込んでいたとは言えなかったと思います。外国人が少ない松山では、あらゆるところで日本語を使わなければならない状況に追い込まれました。初めて日本に来たときは、簡単な会話にしかついていけませんでした。上級レベルの日本語

の授業で個別指導も受け、多くの宿題とスピーチに取り組んだ結果、1年後には日本語を駆使できるまでになっていました。松山大学はそれほど大きな大学ではありませんが、その規模ゆえに周りの人々が私を温かく迎えてくれたのだと思います。私はすぐに多くの学生と知り合いになり、時には知らない人でも話しかけてきてくれました。先生はフレンドリーで前向き、国際センターのスタッフもいつも快く私が直面する問題に力を貸してくれました。一番印象深かった出来事といえば、演劇クラブに所属したことです。そこで親友もでき、彼らと一緒に街一番の中心地で、たくさんの聴衆の前で「坊っちゃん」の劇を披露しました。楽しい思い出を得たと同時に、日本の「美」と「完全性」に対する意識の高さを学びました。



現在は、フライブルク大学にて日本人のためのドイツ語プログラムのコーディネートをしており、私はこの仕事に誇りを感じています。仕事、日本人の妻とハーフの息子、そしてアニメのおかげで日常でも日本語に触れ、今でも私は日本通です。松山は私の第二の故郷。この留学は、私の人生に大きな変化と刺激をもたらした、また、私が抱いていた長年の夢が全て叶った人生最大の経験でした。松山、そして松山大学に感謝の気持ちでいっぱいです。